

脚本家・小説家の吉田恵里香さん講演

5月25日、憲法のことについてドラマ作りと「法の下での平等」テーマ

◎「第58回憲法のことについて」チラシ・ポスター

市は、5月25日(月)午後2時から総合文化芸術センター本館で、憲法の理念を広く啓発するイベント「憲法のことについて」を開催する。毎年、憲法週間のある5月に開催していて、今回は、NHKドラマ『虎に翼』で知られる脚本家・小説家の吉田恵里香さんが「法の下での平等」をテーマに作品を通して社会に伝えたいことなどを講演。また、枚方第二小学校6年生による日本国憲法前文の朗読も。人権政策課の担当者は「憲法と人権、平和について考えてもらえれば」と話す。

★第58回「憲法のことについて」概要 脚本家・小説家の吉田恵里香さん講演

日時など：5月25日(月)午後2時～4時(開場午後1時30分)、

総合文化芸術センター本館関西医大 小ホール。無料。

申込：5月7日午前9時から市ホームページ専用フォームまたは電話で受け付け

保育(生後6カ月以上の未就学児で先着5人)・手話通訳・要約筆記は5月12日までに要申込。補聴システム・点訳資料あり。先着300人。

★「憲法のことについて」は、5月3日の憲法記念日を含む5月1日～7日の「憲法週間」にあわせ、憲法の理念を広く啓発するための市主催イベント。毎年、平和や人権をテーマとした講演会や枚方第二小学校6年生による日本国憲法前文の朗読を実施し、今年で58回目を迎える。今年にはNHKドラマ『虎に翼』などで知られる脚本家・小説家の吉田恵里香さんを講師に招き、作品を通して伝えたいこと、社会でエンターテインメントが果たす役割、憲法14条「法の下での平等」への思いなどを講演する。

★脚本家・小説家の吉田恵里香さん(右写真)は、1987年生まれ、神奈川県出身。

主な脚本執筆作は2024年度前期連続テレビ小説『虎に翼』、映画

『ヒロイン失格』、ドラマ『30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい』

があり、TVドラマから映画アニメまで数々の脚本を手がける。ドラマ『恋せぬふたり』で第40回向田邦子賞・第77回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。

アニメ『ぼっち・ざ・ろっく!』で第9回ANIME TRENDING AWARD S最優秀脚色賞を受賞。小説に『恋せぬふたり』『にじゅうよんのひとみ』など。



<お問い合わせ>

市長公室 人権政策課 ☎ : 072-841-1259 FAX : 072-841-1700

メール : jinken@city.hirakata.osaka.jp

吉田 恵里香さん 講演会

ドラマ作りと

「法の下での平等」

くエンタメの一滴、リアルを穿つ^{うが}く



よしだ えりか
吉田 恵里香さん

脚本家・小説家。1987年生まれ。神奈川県出身。主な脚本執筆作に2024年度前期連続テレビ小説『虎に翼』、映画『ヒロイン失格』、ドラマ『30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい』『君の花になる』などテレビドラマから映画アニメまで数々の作品の脚本を手がける。ドラマ『恋せぬふたり』で第40回向田邦子賞・第77回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。アニメ『ぼっち・ざ・ろっく!』で第9回 ANIME TRENDING AWARDS最優秀脚色賞を受賞。執筆した小説に『恋せぬふたり』『にじゅうよんのひとみ』などがある。

2026. 5.25 (月)

午後 2 時～ 4 時 (午後 1 時 30 分開場)

枚方市総合文化芸術センター
関西医大 小ホール (枚方市駅下車徒歩 5 分)

※駐車場 (有料) には限りがあります。
公共交通機関のご利用をお願いします。

先着 300 名 (要予約) ・ 無料

<プログラム>

- 枚方第二小学校 6 年生による憲法前文朗読
- 吉田 恵里香さんによる講演

<申し込み>

5月7日(木)午前9時から右記コード・市ホームページの専用フォームで申し込み。インターネット環境がない方等は電話申し込み可。保育(生後6カ月以上の未就学児、先着5人)・手話通訳・要約筆記は5月12日(火)までに要申し込み。



↑申し込みフォーム

5月27日(水)憲法記念市民講座

ラポールひらかたにて、大阪弁護士会所属の弁護士が「相続」をテーマに、今知っておきたい基礎知識についてお話しします。申し込みは5月13日(水)から。詳細は広聴相談課へ。

電話 072-841-1559 FAX 072-846-8861